

# もっと住みよい町づくりを

# 目指して

# 議会基本条例を施行

令和3年4月から議会基本条例がスタートしました。この条例は、瑞穂町にとって重要なことを最終決定する議会の機能を高めるとともに、分かりやすい情報を発信し、住民参画を促進して、よりよい町づくりを皆さんと共に進めることを目的としています。

## ◆何がどう変わる

### 議会モニター設置

町内在住・在勤の方に、議会や常任委員会を傍聴して、提案、意見や感想を寄せていただきます（4年4月スタート予定です）。



### 政策研究会の発足

町政の重要な問題を各委員会などを横断して調査研究できるように、プロジェクトチームを発足して、政策立案・提言につなげます。

## ◆進行中

### 広報広聴委員会(仮称)の発足

これまで、議会の情報発信は議会だよりやホームページが主でした。議会にICT機器が導入予定であることやスマートフォンの普及などから、YouTubeやSNSの効果的な活用を検討し、情報発信機能を高めていきます。



## ◆調査中

### 予算・決算常任委員会の設置



これまで皆さまから預けられた税金の使い道などを審査する予算特別委員会、決算特別委員会では、それぞれ3日間の町側への聞き取り調査、その後の議員問討議の計4日間で行って来ました。しかし、事業内容を調査し、速やかに提言できるようにするために常任委員会化している議会が増えています。常任委員会化により、年間を通して事業のより適正な見直しができるようになりますが、一方で、会議日程の確保や頻繁な調査により、円滑な事業運営に支障を来すのではないかと指摘があります。

## ◆調査中

### 通年議会化

原則、議会の招集は年4回、町長が行います。しかし、議会の通年化により、重要な意思決定が必要な際に、いつでも議長の権限で議会を開催できるようになります。また、町の事業や予算などへの審査がより充実し、町政に対する監視機能の強化も図られます。通年議会化の調査に至ったのは、コロナ感染拡大で国や都から緊急的な財源や課題が発生した際、通年議会方式を採用していた議会がしっかり審査できており、その必要性が高まったためです。しかし、説明のための資料作成など職員の負担増や議事録作成などにかかる経費増につながるのではないかと指摘があります。

## ←新たな議会構成の続き

### ■一部事務組合等議会

各議員は、自治体が共同出資して組織する特別地方公共団体の重要な意思決定や運営の監視などを担います。

瑞穂斎場組合（瑞穂町、入間市、福生市、羽村市、武蔵村山市）

斎場の運営や周辺地域への対策などを行っています。

小山 典男、村山 正利、村上 嘉男

西多摩衛生組合（羽村市、青梅市、福生市、瑞穂町）

構成市町から出された燃えるごみを焼却する施設とフレッシュユランドの運営、周辺地域への対策などを行っています。

近藤 浩、下澤 章夫、香取 幸子

羽村・瑞穂地区学校給食組合（羽村市・瑞穂町）

各公立小中学校の給食の運営を行っています。

小川 龍美、石川 修、原 隆夫

東京たま広域資源循環組合（都内25市1町）

各焼却施設から排出された焼却灰などを日の出町の処分場で処理します。ごみの最終処分策として、現在、エコセメント施設を民間と共同で運営しています。

大坪 国広

福生病院企業団（福生市・羽村市・瑞穂町）

公立福生病院の運営を行っています。

森 亘、下野 義子、榎本 義輝

### ■協議会・審議会(外部)

国や関係機関に改善を働きかけることを目的とした組織で、自治体共通の課題を調査、審査します。

三多摩上下水及び道路建設促進協議会

理事 古宮 郁夫

第1委員会委員（上水道） 石川 修

第2委員会委員（下水道） 小山 典男

第3委員会委員（道路） 下野 義子

不老川流域対策推進協議会顧問

古宮 郁夫

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会会員

古宮 郁夫、小山 典男

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会会員

古宮 郁夫、小山 典男

全国市議会議長会基地協議会会員

古宮 郁夫

三多摩地区消防運営協議会委員

古宮 郁夫

西多摩地域広域行政圏協議会審議会委員

古宮 郁夫、山崎 栄、石川 修

協議会・審議会(町)

瑞穂町都市計画審議会委員

大坪 国広、小山 典男、原 隆夫、下澤 章夫

瑞穂町青少年問題協議会委員

近藤 浩、森 亘、香取 幸子

民生委員推薦会委員

山崎 栄

瑞穂町監査委員

榎本 義輝